

予算決算委員会（後期全体会）

期日：令和2年3月17日(火)
場所：議場

1 開会

2 委員長挨拶

3 執行機関挨拶

4 議案審査

(1) 議案第 20 号

令和元年度飯田市一般会計補正予算（第8号）案

(2) 議案第 21 号

令和元年度飯田市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）案

(3) 議案第 22 号

令和元年度飯田市介護保険特別会計補正予算（第3号）案

(4) 議案第 23 号

令和元年度飯田市介護老人保健施設事業特別会計補正予算（第2号）案

(5) 議案第 24 号

令和元年度飯田市水道事業会計補正予算（第1号）案

(6) 議案第 25 号

令和元年度飯田市下水道事業会計補正予算（第2号）案

(7) 議案第 26 号

令和元年度飯田市各財産区会計補正予算（第2号）案

(8) 議案第 27 号

令和2年度飯田市一般会計予算（案）

(9) 議案第 28 号

令和2年度飯田市国民健康保険特別会計予算（案）

- (10) 議案第 29 号
令和 2 年度飯田市後期高齢者医療特別会計予算（案）
- (11) 議案第 30 号
令和 2 年度飯田市介護保険特別会計予算（案）
- (12) 議案第 31 号
令和 2 年度飯田市地方卸売市場事業特別会計予算（案）
- (13) 議案第 32 号
令和 2 年度飯田市駐車場事業特別会計予算（案）
- (14) 議案第 33 号
令和 2 年度飯田市墓地事業特別会計予算（案）
- (15) 議案第 34 号
令和 2 年度飯田市介護老人保健施設事業特別会計予算（案）
- (16) 議案第 35 号
令和 2 年度飯田市ケーブルテレビ放送事業特別会計予算（案）
- (17) 議案第 36 号
令和 2 年度飯田市病院事業会計予算（案）
- (18) 議案第 37 号
令和 2 年度飯田市水道事業会計予算（案）
- (19) 議案第 38 号
令和 2 年度飯田市下水道事業会計予算（案）
- (20) 議案第 39 号
令和 2 年度飯田市各財産区会計予算（案）
- (21) 議案第 41 号
令和元年度飯田市一般会計補正予算（第 9 号）案
- (22) 議案第 42 号
令和元年度飯田市病院事業会計補正予算（第 3 号）案

5 閉会

議案第 27 号「令和 2 年度一般会計予算案」に対する附帯決議（案）

令和元年度「議会による行政評価」により、「いいだ未来デザイン 2028」の平成 30 年度の取り組みに対する評価及び提言を令和元年 9 月 20 日付け飯田市長に対して行った。その評価及び提言書の基本目標別提言である「基本目標 12 リニア時代を支える都市基盤を整備する」への対応について、適切に監視、評価することが、飯田市自治基本条例第 22 条に規定された市議会の責務である。よって、下記事項について十分な配慮をされたい。

記

議案第 27 号令和 2 年度一般会計予算案におけるリニア推進事業費については、今日的状況として、事業の進捗状況が必ずしも市民に広く伝わっている状況にないことから、これを解消すべく取り組みを研究するとともに、リニア関連事業を広く市民へ広報するため、財政の投入を含め検討されたい。

以上、議案第 27 号「令和 2 年度一般会計予算案」につき附帯決議する。

令和 2 年 3 月 17 日

予算決算委員会

予算決算委員長

予算決算委員会産業建設分科会・リニア推進連合会議 座長報告 「議案第 27 号 令和 2 年度一般会計予算案 に対して意見を付すことを 求める」ことについて

1 分科会における経過

(1) 委員からの提起

3月 12 日開催の、予算決算委員会産業建設分科会、リニア推進特別委員の連合会議における、議案第 27 号令和 2 年度一般会計予算案「歳出」、2 款総務費、17 項リニア推進事業費、17 目リニア推進事業費において、リニア関連事業の進捗状況を広く市民に広報を行うことについて委員より意見があった。

委員からの意見の主旨は、令和元年度「議会による行政評価・提言」の「いいだ未来デザイン 2028」の基本目標別提言への対応について「基本目標 12 リニア時代を支える都市基盤を整備する」において、以下の提言を行っている。

「事業の進捗状況が、必ずしも市民に広く伝わっている状況にないことから、これを解消すべく取り組みの広報の強化とそのための財政を投入されたい」

これに対して当初予算案の説明では、「各種説明会の開催を通じて事業の説明を頻繁に行うとともに、議会からの提言を受けて、少額ながらウェブサイトをわかりやすいものに更新するための予算を盛った」としている。

しかし委員の発言は、これを不十分とするものであった。

その理由として、

①所管において、各種会合などの折に事業などに関する説明を尽くすことは当然のことであり、議会が求めているのは、**広報そのものに効果が期待できる財政の投入をされたい**とするものである。

②現行の「広報いいだ」は、以前よりリニア関連事業の広報が充実してきているが、**事業が具体的かつ目に見える形で進捗しつつある本年度以降は、より幅広い市民、各界に事業の進捗状況などをタイムリーに伝える必要がある。**

③ウェブサイトの更なる充実は必要であるが、“訪れない見られないウェブサイト”の更新のみでは、提言の「**市民に広く伝わっている状況にない**」の解決につながらない。

④予算額の多少が問題ではないが、あえて財政を投入してまでも広報の充実を求

めているということは、市民に広く伝えるための効果が期待できるための必要額が求められる。

⑤リニア関連事業の進捗から、三遠南信道を含めた高速交通網の開通に向けた地域の備えを市民と共に考える機会を創出するためのツール（広く議論できるきっかけづくり）が必要である。

とするものであった。

（2）委員間の自由討議

委員からの提起を受けて、委員の意見の主旨を踏まえ、「議会による行政評価・提言」に対する執行機関側の予算措置の是非や妥当性、また、広く市民へ広報するための財政投入の必要な賛否を論点として、分科会委員による議員間自由討議を行った。

自由討議においては、委員の意見主旨を概ね賛同する発言が多く、特に広く市民へ広報することの必要性について、意見が一致した。しかし、そのための財政の投入については、予算増額のための修正や組み換えまでを求めるることはせず、「議会による行政評価」による提言への対応を引き続き執行機関側へ求めていくことを確認し、附帯意見を付して予算案を認める方向を確認した。

2 附帯決議案の内容

議案第 27 号令和 2 年度一般会計予算案におけるリニア推進事業費については、今日的状況として、事業の進捗状況が必ずしも市民に広く伝わっている状況にないことから、これを解消すべく取り組みを研究するとともに、リニア関連事業を広く市民へ広報するため、財政の投入を含め検討されたい。

令和 2 年 3 月 17 日

産業建設分科会 座長 熊谷泰人

※附帯決議案は別紙